
社会福祉法人大田幸陽会の取組み

すべての人に陽光が燦々とそそぎ、
だれもが幸せに暮らせる社会の実現

～障害のある人もない人も、共に暮らし、共に働く
地域社会の拠点としての役割を果たす～



Ota-Koyokai social welfare corporation

社会福祉法人大田幸陽会

企業概要

- 企業名

- 社会福祉法人 大田幸陽会（東京都大田区）

- 実施事業

- 就労継続支援（B型）、就労移行支援、就労定着支援、生活介護、重症心身障害者通所事業、共同生活援助、短期入所、指定特定相談支援、障害者居宅介護等事業、移動支援、日中一時支援、自立生活援助、介護保険訪問介護等事業、サービス付き高齢者向け住宅の経営、ガイドヘルパー養成研修事業、障害者余暇活動支援事業

- 社員数

- 約300名（うち非常勤100名程度）

採用に向けた取り組み①

● インターンシップ・職場見学を通じて仕事を知ってもらう

- 新卒学生向けに、インターンシップ説明会を開催しています。希望者は、ホームページ等から申し込んでもらい、体験後、面接というフローにしています
- キャリア採用者も面接前に現場体感型の見学をしてもらうようにしており、まずは社会福祉法人や福祉の仕事を知ってもらうことから始めています



● 福祉未経験者も採用

- 採用対象を未経験者まで拡大しています。

経験者や福祉の専門学校卒業者に比べて一人立ちに時間を要するものの、研修やOJT体制を手厚くすることで、戦力として成長できる環境を整備しています



採用に向けた取組み②

● 採用ホームページで積極的に情報公開

- 採用ホームページには『働き方データ』として平均労働時間や勤続年数、有休取得日数、育児休業取得者（男女）などの各種データを公開しています。実際に求職者から良く聞かれていた関心の高い項目を事前に公開をすることにしました

働き方データ

- 平均勤続勤務年数7.6年
- 月平均所定外労働時間（前年度実績）8.8時間
- 平均有給休暇取得日数9.8日
- 前年度の育児休業取得者数
（男女別）女性1名、男性1名
- 前年度の出産者数 2名 ※以上、2021年度データ
- 中途採用比率 75.0% ※2022年度データ
- 役員及び管理的地位にある者に占める女性の割合
・・・役員30.0% 管理職10.5%（※2023年3月現在）



育成に向けた取組み

● 入職後はチューター制によるOJT

- チューターは新規入職者と年齢の近い入職2～3年目の職員が担当し、半年間を目途に一人立ちできるようサポートしています



● オンライン・オフラインの併用による充実した研修体系

- コロナ禍からオンライン研修システム（サポーターズカレッジ）を積極的に活用することで、従来よりも手軽に研修に参加できるようになりました
- 一方で「事例検討」や「原点研修（法人の沿革・理念など）」など、集合型での研修も職層別・事業所別に取組んでおり、内容によって使い分けています



定着に向けた取組み

● 育成面談とジョブローテーションによる人材育成・職場定着支援

- 自己申告制度に基づき異動希望などを出してもらい面談を行います。3年以上の職員を対象に異動をおこなう仕組みを導入しています
- 職員にとっては知見が広がったり、新たな気持ちで仕事に臨めるメリットがあります
- 一方、職種や業務によっては担当変更が難しいケースもあります

